

より良い材料と技術で 快適生活!

現在の保険治療ではほとんどの症例に対応できますが、国の決めた保険制度上の規制があります。しかし一方で、より良い材料や治療方法が存在していることも事実です。歯科医はいつも患者さんに対していい材料でベストな治療ができることを望んでいますが、すべての歯科材料や技術を保険適用にはできません。保険治療には限界があり、より良い治療は自費治療ということが考えられます。



保険治療

基本的には、前歯はレジン(プラスチック)を臼歯には金属を用いて治療します。

●レジンジャケット

プラスチック材料のみでかぶせて治しますが、金属を使用していないため強度が落ちます。

●硬質レジン前装冠

金属の前面にプラスチックを張り付けますが、やはり変色・摩耗する欠点があります。

●クラウン(冠) インレー(つめもの)

いわゆる銀歯です。

基本的には、床(しょう)というプラスチックの部分と、残っている歯にかける金属のバネ(クラスプ)、補強のための針金の線などでできています。多少の違和感や審美性、強度が劣ります。

●レジン床義歯

●スルフォン義歯

前 歯



臼 歯



義歯(入れ歯)



保険外治療

生体親和性のよいゴールドや、より審美性に優れた自然の歯の色調に近い材料が使えます。

●セラミッククラウン(メタルボンド)

金属の前面にセラミックを焼き付けます。より自然な色調と形が再現でき、長年使用しても、変色・摩耗することがほとんどありません。

●ゴールドクラウン・インレー

天然の歯に近いかたさを持ち、口腔内で安定しており、生体親和性に優れています。また加工性に最も優れ適合性がよい利点があります。

床の一部を生体親和性に優れた金属に置き換えることにより、より薄く小さくでき、装着感が良く異物感や違和感が少ない、強度も増す、金属のほうを熱を伝えやすいのでよりおいしく食べられる、清潔である、薄いのでしゃべりやすいなどの利点があります。

●金属床義歯

ゴールド、チタン、コバルトクロム、メッシュ

●アタッチメント

コーヌス・クローネ、マグネットなど。

自費診療として、歯の漂白(ホワイトニング)、インプラントなど様々な治療法があります。詳しくはかかりつけの歯科医にご相談してください。

歯科医師・歯科衛生士は
あなたの強い味方!
お口の健康を守る
プロフェッショナル!

広島市歯科医療福祉対策協議会

広島市中区富士見町11番9号 広島市歯科医師会事務局内 TEL(082)244-2662

